



えがお！松本っ子だより

令和7年度「松本小学校スクールプラン」についてご説明いたします。校長 出口 津代子

自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける子

福井市松本小学校 学校だより 令和7年5月12日 第2号
TEL 22-8813 FAX 22-8892 Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp



＜学校教育目標＞学校その全ての教育活動が、どんな子どもを育てるために、学校(校長)が示すものです。
「自ら、そして仲間と」自分一人でも身につける。そして仲間との関わり合い(協働)の中にも身につける。
「未来をたくましく生きる力」昨年度に引き続き、松本っ子につけたい5つの力として定めました。

①何が得意か苦手を知らず、その子の頑張り、そして自分を信じる力につながります。
②相手を知り、互いを大切にできる関係を築きます。
(①②の力は学校生活全ての土台)
③ここは「自分」です。自分でしっかり考えることで、「伝えたい」につなげます。
④自分を信じ、相手を大切に、互いの考えを伝え、決めたなら、「失敗を恐れず挑戦する力」は必ずやります。ここまでの過程を乗り越えてくるからこそ、「失敗を恐れず挑戦する力」はきっと松本っ子についてきます。めげずにチャンスを探し、堂々と挑戦する松本っ子と教職員になりたいです。そして⑤「仲間と協働し、感動する力」を何度でも味わいたいです。

学校教育目標を達成するための重点目標と具体的な取組を定めました。実践する過程で子どもに力がつき、数値目標も達成できるようにしていきます。(学校評価は7月と12月)

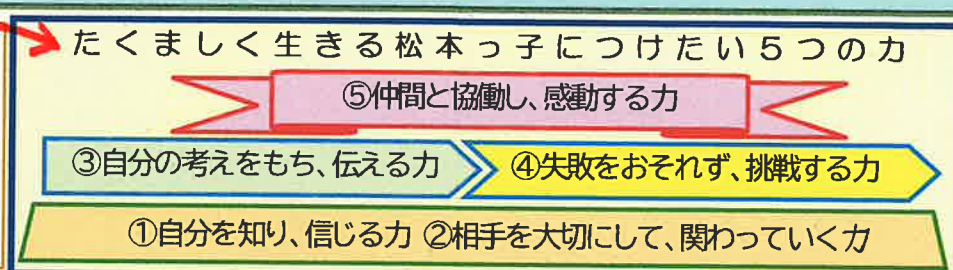
松本っ子みんなでつながる仲間作り
(1)縦割り・学年間交流を加速します。「ふれあいタイム」「ペア学年交流ワーク」を皮切りに、様々な活動で「あこがれる・あこがれる」関係を作ります。
(2)昨年度、テーマソングでみんなが一つになった絆を、私たちは知っています。今年度も味わいます!!
(3)ポジティブ教育、スタートします。△「仲間同士の助け合い」「人づきあいの方法」「自分で立ち向かう力づくり」を、子どもも大人も学んでつながっていきます。

令和7年度 福井市松本小学校 『主体的』『つながる』スクールプラン

＜スクールプラン＞旅に例えると、進む方向を示す地図と言えます。昨年度の松本っ子の活動の様子や、実施した取組を振り返り、出た成果と課題から、今年度も責任をもって作成しました。

学校教育目標 自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける子

【目指す学校の姿】
子どもと大人のやりがいあふれる松本小学校
児童:いつでもつながる元気で優しくあふれる松本っ子
保護者:「子どもが自分を発揮できる場所」「相談できる」
教職員:「子どもの成長を支援する場」「語り合える場」
「チームワーク」「自分や家庭を大切にできる」



【福井市学校教育目標】郷土福井に誇りをもち、たくましく生きる子どもの育成
【福井市学校教育方針】学びをつなぐ・未来につなげる
【キーワードは『主体的』『つながる』の松本小】
『主体的』 気づき、そして興味をもつ・自分の未来とつなげてみる・見通しをもつ・粘り強く取り組む・振り返って次につなげる
『つながる』 人をつなぐ・学びをつなぐ・支援と説明でつなぐ

＜今年度キーワード＞
ズバリ!!『主体的』『つながる』としまげ。気づき、興味をもち、自分の未来とつなげながら、見通しをもって粘り強く取り組む。最後に振り返り次につなげる。この一連の活動を『主体的』としました。また今年度はさらに、「人」とつながり「学び」をつなげていきたいです。子どもたちが学びの過程でどんな人とつながろうと考えるか。獲得した学びを、何とつなげようとするのか。児童・教職員が共にやりがいをもって進めていきたいです。

重点目標 松本っ子みんなでつながる仲間作り
(1)あこがれる・あこがれる関係づくり
(2)歌声でつなぐ学校づくり
(3)自分作り・人間関係作りのスキルアップ

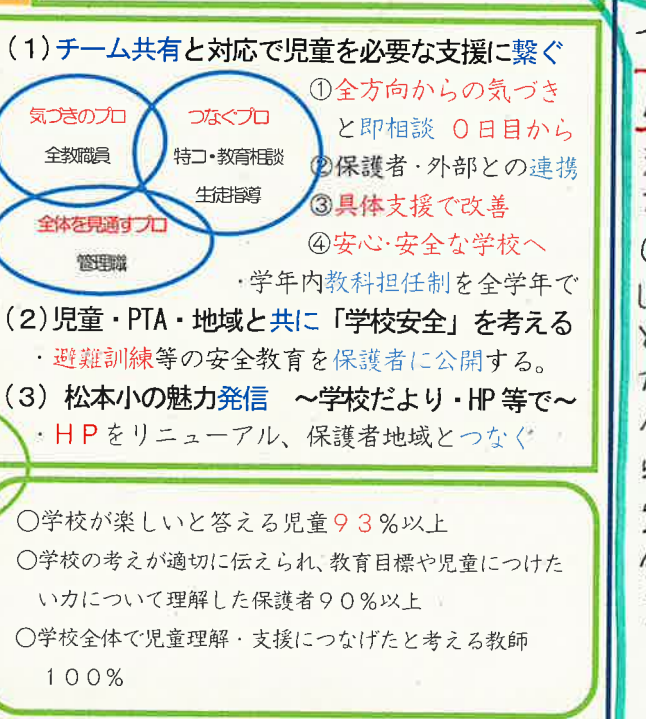
自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員
(1)「特別活動」「生活・総合」「行事」をつなぎ、児童主体の時間と場
(2)児童主体を可能にするカリキュラムマネジメントのさらなる促進
(3)児童・教職員で「自ら学び、仲間とつながる」(研究主題)を果たす

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校
(1)「気づき→共有→支援」でつなぐ松本小
(2)保護者・地域とともに安全教育の推進
(3)ワクワク!笑顔をつなぐ大作戦

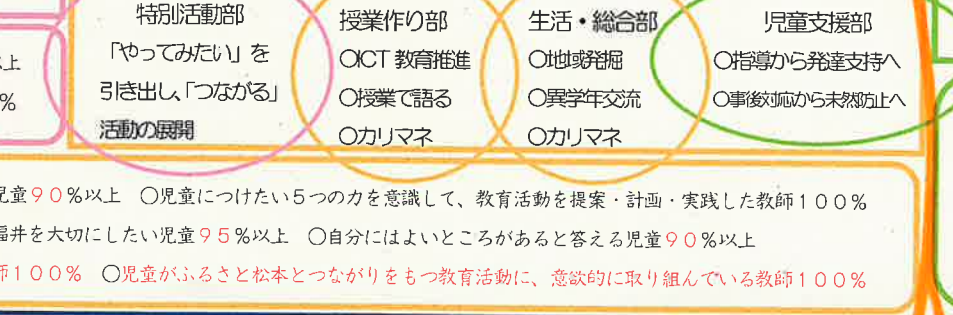
丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校
教職員にとっての重点目標であり、この目標がなくなることはありません。
(1)全教職員は「気づきのプロ」として、たくさん目で見えたいです。どのクラスも、担任1人ではなく様々な教職員が授業に入り、共有します。気づきからすぐに「つなぐプロ」の特別支援コーディネーター、教育相談、生徒指導などの担当者がチームを作つてつなぐ、支援の在り方について考えます。「全体を見通すプロ」の管理職も、もちろんチームの一員として情報を共有、適切に判断します。チームで保護者の方と連携していきます。
(2)学校安全に関わる力をつけ続けます。訓練や研修について、保護者の皆様にもお知らせし、積極的な参加をお原います。市教委と連携、ハード面強化にも努めます。
(3)松本っ子と教職員、学校の取組発信に努めます。

具体的な取組
(1)縦割り交流・学年間交流のさらなる活性化
縦割り・学年間交流活性化で上級生・下級生それぞれが役割を果たす経験を積み重ね、「あこがれる・あこがれる」関係を醸成する。
(2)歌でお互いを高め合い、尊重し合う
クラス・学年・全校で、一体となる経験を味わう。(R7テーマソング・朝の歌でつなぐ)
(3)ポジティブ教育でつながる力UP!
児童:自分作り・仲間作りのスキルを学び、生かす。
教員:自ら自分事と捉えて学び、子どもとつながる

自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員
(1)学校生活での自分たちの課題を、自分たちで解決する
学校生活での課題に自分たちで気づき、考えて決め、実行する学級・学年・全校集団を目指し、5つの力をつける時間と場を保障する。昨年度よりスタートした「松本フェスティバル」を、つけた力を発揮する場とする。集団で培うこれらの力を、将来の「自己選択・自己決定」の力につなげる。
(2)全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開
生活科・総合的な学習と全教科・領域をつなぎ(カリマネ)、「全ての教育活動で総合的に力をつける」展開で、学習効果の最大化を図る。
(3)研究4部会がめあてをもって立ち、ともにつながり合って果たす、教育活動の展開



数値目標
○自他を大切に、ともに取り組んでいる児童90%以上
○特活・生活総合・行事などで場を保障した教師100%



自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員
(1)(2)今年度も「児童主体」を可能にする取組を考え、実践します。学校生活の課題に自分たちで気づき、解決する児童、教職員集団を目指すため、分断されたカリキュラムではなく、全ての教育活動で総合的に5つの力をつけるという視点をもって、実践を展開します。つけた力を発揮し、「仲間と感動する・自分の達成感を味わう」場として「松本フェスティバル」を設定します。
(3)昨年度末、成果と課題を振り返る中で、教職員全員で「組織作りから令和7年度プランを考える」を行いました。そこから生まれた今年度4部会と、それをめあて(上)です。松本小の職員室には、担当学年や仕事内容、担当部会、教員としてのキャリアや考えなど、様々なことが違っている職員がいます。その違いは集団の「強み」です。そして、その違う者同士がつながることこそが、集団における「最大の強み」だと思っています。これからも、「いつでもつながる元気で優しくあふれる松本っ子」と共に、全職員でつながって学校経営を果します。
昨年度中にご理解をいただき、校時表や授業時数見直しも今年度より実施させていただきます。本当にありがとうございます。これからも「子どもと大人のやりがいあふれる」ため、取組を進めます。

R7業務改善の取組 ◇年間業務推進日を保護者に知らせ理解を得、勤務時間内に会議を終える ◇令和7年度より、校時表と授業時数見直し実施 ◇指導要録所見の更なるスリム化 ◇組織対応で個人負担削減
◇地域にお願いできることはお願いし、地域と教職員の笑顔につなげる ◇児童・教職員が自分事として課題に気づき考え、決め、実行する学校に